

# 7月の園だより

HP (<http://honbun.hoikuen.ac/>) メールアドレス([honbun-hoikuen@shirt.ocn.ne.jp](mailto:honbun-hoikuen@shirt.ocn.ne.jp))

今年は、例年より最も遅い梅雨入りとなりました。今何月？と聞きたくなるくらいの猛暑！あまりの暑さに、プールを出し遊んだり、泥遊びをしているところにせつせと水を運んで、泥だらけになって泥んこ遊びを全身で楽しんでいます。今月からは、いよいよ本格的にプール遊びが始まります。さらに賑やかに元気いっぱい遊ぶことでしょうね！また、蒸し暑く寝苦しい夜は、よく眠れなくて不機嫌になったり、虫さされからとびひなど皮膚炎をおこしやすい時期でもあります。十分な睡眠と朝ごはんをしっかり食べて体調を整え、清潔に心がけてあげましょうね。

## 子どもは汗かき



汗を出す汗腺の数は子どもも大人も同じ。子どもは新陳代謝が盛んなので大人よりもたくさん汗をかきます。汗をかいたまま放っておくと、あせもの原因にもなります。また、虫刺されからかきむしってしまうと、とびひの原因になることもありますので、気をつけてあげてくださいね。

汗をかいたら…

- ★こまめに着替えを。
- ★シャワーを浴びたり、濡れタオルでふくとさっぱりします。
- ★かきむしらないよう、爪は切っておきましょう。
- ★水分補給を忘れずに。

お子さんのからだをよくみて、気付いたら早めのケアをお願いします。引き続き、園でも気がつけていきますね。また、髪の毛は、結ぶか短くし、清潔を保たれるようにしてくださいね。本格的にプールも始まりますし、シラミの発生にもつながりかねませんので、よろしくお祈りします。

## 感染症（手足口病）について

6月より当園でも、手足口病が流行しています。手のひら、足の裏、口の中にも水泡性の発疹、よだれ、口内の痛み、発熱が特徴です。経口、飛沫、接触などにより感染します。手足口病には有効なワクチンはなく、手洗い、清潔の励行など一般的な注意が必要となります。

登園のめやすは、熱も下がり、食欲が出てきて、元気になってからとなり、医師の許可がでてからとなりますので、大変お世話かけますが、ご協力をよろしくお願いいたします。

二〇一九年七月  
本分保育園

## 行事予定

- 7月 6日(土) ちゅうりっぷ組懇談会
- 13日(土) 回寿苑夏祭り(さくら組)  
さくら組懇談会
- 17日(水) 誕生会・市の巡回相談
- 19日(木) 田代川あそび  
(さくら・ちゅうりっぷ組)
- 8月 1~2日(木、金) お泊まり会(年長児)

## お知らせ

先日のクラス懇談会で、職員紹介の要望がありましたので、「職員紹介のお知らせ」を各クラスに掲示いたしますのでご覧ください。

## 気をつけよう！夏の感染症

梅雨が明けると、「毎日プール」で楽しい夏ですが、体力の消耗の激しい時期でもあります。また、プールの水を媒介していろいろな病気が感染しやすく、あっという間に広まることも多いのです。代表的な4つについて主な症状が見られたら、すぐに病院を受診しましょうね！



### 流行性角結膜炎

まぶたのはれや異物感、痛み、充血、目やにで目が開けられなくなったり、発熱や下痢を伴うことも。

### プール熱(咽頭結膜熱)

39℃以上の発熱とどの痛みがあり、目のかゆみ、痛み、充血など結膜炎のような症状がでる。

### ヘルパンギーナ

高熱とどの痛み。特にのどは、水泡やかい瘍ができるためかなり痛む。

### とびひ

皮膚に水ぶくれができ、破けて赤くむけたような状態になる。

**ひよこ組**  
おおきくなったかな？

**うめ組**  
短冊に色付け中！後ろの子達も興味津々!!!

**さくら組**  
七夕飾り製作中。細かい手作業に集中！

**さくら組**  
保育園全員のおやつじゃが芋万頭「いただきますーす」

**ちゅうりっぷ組**  
お山を作って、トンネル完成！みんなでハイチーズ！

**たんぼぼ組**  
交通安全教室。みんなで敬礼

**もも組**  
かわいいママ！ごっこあそびのはじまりです

## ~子ども同士のコミュニケーションとけんか~ part①

1歳半前後になると「自我」が誕生してきます。「自分の存在に誇りを持つ(自分ってすごい!)」の始まりです。保育士は、この「自我」こそ子どもの心の中から決してなくなってしまうように大切に守り育てていきたい人格の核心部分と考えています。そこでは、「イヤ!」「ジブンデ!」「ミテテ!」と忙しい日々の家庭の中では、困った時期となっているかもしれません。そんな時は、時間的な『間』をあけることで、子どもたちは自分の意志で動いた、通じたという感覚を持つことができます。そして、またこの時期には「友だちが楽しそうにやっていることは自分にとってもきっと楽しい」と感じて、言葉の発達も未熟なので、かみついたりひっかくなどのトラブルやケンカが発生します。しかし一方では、友だちが自分と同じ存在になり、あそびがより一層豊かになっていくのです。では、どうしてケンカになってしまうのでしょうか。やはりそれも「自我」の誕生と関係しています。「自分を尊重してほしい!」時期に、「カシテ」とたのまれても「イヤ!」と答えるのは、自分の物が他者に渡ることには自分の領域が侵されたこととを感じるからです。おもちゃの貸し借りでトラブルが起きるときは「カシテ」の言い方を「もう少ししたらカシテね」「終わったらカシテね」という言葉かけで伝えると「あなたを尊重しているよ」というニュアンスが込められるようになります。この1歳半から2歳半くらいまでの時期に、友だちとの世界を豊かに育むために、子どもたち同士同じ楽しさや経験をたくさんし、共感したり共有したりすることを大切にしています。お部屋を出ていく友だちに「行ってらっしゃい」と声をかける、帰ってきた友だちに「おかえり」とかける。それだけで、声をかけられた子どもは「友だちに受け入れられた」と感じます。まだまだトラブルは多いけれども、お互い尊重し合うこともわかり始め、共感いっぱい楽しい時間を保障してあげたいと思っています。